



新年のごあいさつ

広島市医師会常任理事 佐々木 達



明けましておめでとうございます。

先生方におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと存じます。

平素より、広島市医師会をはじめ安佐、安芸地区、大竹市、佐伯地区、山県郡の各医師会の会員の先生方には大変お世話になっております。日頃の御愛顧ならびに御指導に感謝し、厚く御礼を申し上げます。

当検査センターは、以前にも増して厳しい同業他社との競争に晒されています。昭和36年に医師会員の共同利用施設として設立された当初から続く、地域医療の発展と拡充への思いを胸に、役職員一同、検査の質と付加価値サービスの向上に努めてまいります。昨年11月には、(公財)日本適合性認定協会の審査により臨床検査室認定ISO15189の認定を受けました。検査の精度管理については、日本医師会や日本臨床検査技師会など各種外部精度管理調査に積極的に参加し高得点をマークしています。

診療支援として好評をいただいている「疾患別検査ガイド」は昨年、第9巻「骨粗鬆症2019」と第10巻「高血圧2019」を発刊しました。最新の「高血圧2019」については来たる1月27日(月)、誠和会 牟田病院 院長・福岡大学 研究特任教授の柳瀬 敏彦 先生を講師としてお招きし、概要説明を兼ねた学術講演会を開催いたします。多数の先生方の御参加をお待ちいたしております。第11巻は「高尿酸血症」をテーマとし、近日発刊する予定です。さらに、患者さんの検査データ解析をもとに見落とし防止や診療の標準化を目指す「後方診療支援システム」の構築を進めており、こちらも近いうちに試験導入となる予定です。

医師会運営の検査センターとして、臨床検査に関する疑問・質問への対応力は大きな特長です。営業・集配部門やコールセンター業務の充実だけでなく、システム管理部門においてもシステム連携やセキュリティ対応など個別の医療機関対応を行っています。全部門を挙げて、先生方に「いちばん身近な検査室」としてご利用いただけるようサービスの向上に取り組んでまいります。お気軽に声をおかけいただけると幸いです。

最後になりましたが、先生方の益々の御健勝、御発展を祈念し新年の御挨拶とさせていただきます。本年もどうぞ、宜しく願い申し上げます。